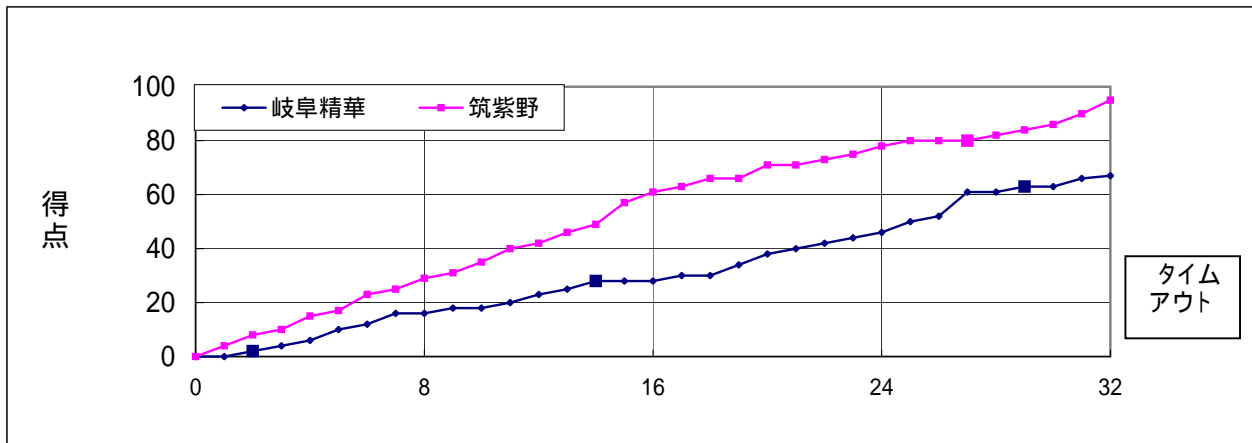


試合区分	2日目 決勝トーナメント1回戦 2GB4																	
期日	2010年(平成22年)8月24日(火)		13:30															
会場	広島県立総合体育館																	
結果	岐阜精華 67	<table border="1"> <tr><td>16</td><td>-</td><td>29</td></tr> <tr><td>12</td><td>-</td><td>32</td></tr> <tr><td>18</td><td>-</td><td>17</td></tr> <tr><td>21</td><td>-</td><td>17</td></tr> <tr><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> </table>	16	-	29	12	-	32	18	-	17	21	-	17	-	-	-	95 筑紫野
16	-	29																
12	-	32																
18	-	17																
21	-	17																
-	-	-																
	(岐阜)		(福岡)															
審判	主審 高嶋 憲彰	副審 石川 淳也																



岐阜精華

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F
4	* 若岡 亮仁 (C)	0	0	0	0	1
5	* 堂藤 幹平	14	0	7	0	1
6	* 真鍋 佳大	9	0	4	1	4
7	* 平田 裕樹	2	0	1	0	0
8	岡崎 義憲	0	0	0	0	0
9	藤嶋 力也	-	-	-	-	-
10	田村 治熙	10	1	3	1	2
11	倉満 昂佑	-	-	-	-	-
12	赤松 諒一	-	-	-	-	-
13	小野 将輝	-	-	-	-	-
14	上川畑 昂祐	-	-	-	-	-
15	浅野 純也	-	-	-	-	-
16	辻本 真太郎	-	-	-	-	-
17	柴田 晃陽	-	-	-	-	-
18	* 旧井 晨二	32	0	14	4	3
コーチ	浅野 史朗					
	合計	67	1	29	6	11

筑紫野

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F
4	* 帯刀 滉暉 (C)	24	2	9	0	1
5	* 砥綿 啓伍	18	2	6	0	2
6	* 野中 亮吾	15	0	7	1	4
7	* 中村 文紀	14	0	7	0	3
8	添田 拓斗	2	0	1	0	1
9	原田 成斗	0	0	0	0	0
10	鐘江 啓斗	0	0	0	0	0
11	市川 恭平	0	0	0	0	0
12	* 濱田 健太	11	0	5	1	3
13	安藤 琢郎	6	0	3	0	3
14	瀬戸 洸平	0	0	0	0	0
15	田代 浩太郎	0	0	0	0	0
16	久松 龍孔	5	1	1	0	0
17	榊 洸哉	0	0	0	0	0
18	野中 貴仁	0	0	0	0	2
コーチ	帯刀 三寛					
	合計	95	5	39	2	19

*...スターター (C)...キャプテン 3P...3点シュート 2P...2点シュート FT...フリースロー F...ファウル

戦評

両チームハーフコートのマンツーマンDefでスタートする。筑紫野は果敢にパスカットを狙い、#6の速いドライブで得点を重ね、2 - 10とする。岐阜精華はセンターにボールを集め勝負する。筑紫野は#7を起点に、1対1を仕掛け、ジャンプシュートで加点し、16 - 29のリードで第1Qを終える。第2Q、筑紫野はスティールから速攻で得点し、残り5分で20 - 40とリードを広げる。#4の3P等でさらに点を加え、25 - 49となったところで岐阜精華がタイムアウトをとるが流れは変わらず、筑紫野の前からの激しいあたりと衰えない運動量で次々と速攻を決め、28 - 61で2Qを終了。

3Q、筑紫野#5の3Pで始まる。岐阜精華は、筑紫野#7に対して#10をマークさせボールを持たせない作戦に出る。その間に岐阜精華#5の連続シュートで得点を上げるが、筑紫野も#5のドライブ、3Pでなかなか差が縮まらず、46 - 78で3Q終了。4Q、2分過ぎから岐阜精華はオールコートマンツーマンDefにかえ、フロントからプレッシャーをかけてくる。スティールから連続2ゴール取られたところで、筑紫野タイムアウト。最後まで筑紫野の運動量は変わらず、#7のドライブ、速いパス回しで得点を重ね、終始リードを保ち、67 - 95で筑紫野が決勝トーナメント1回戦に勝利した。

記載者 二岡 政徳 (所属) 広島